

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 5日 更新

事務事業名		感染症予防事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸	所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 繁之
	施策	6	健康づくりの推進	所属課	健康ほけん課	担当者名	関岡 春奈
	業務分野	23	地域医療体制の充実	所属班	健康づくり班	(内線)	1185
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 2	事業連番	10380
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		法令根拠	予防接種法		
				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	予防接種法に基づく定期接種及び行政措置での任意接種を実施。全て個別接種で実施している。また、併せて感染症予防の普及啓発を行う事業である。 定期接種は、65歳以上のインフルエンザ、高齢者の肺炎球菌(R6年度～65歳のみ)である。また、H31年4月から風しんの追加的対策事業として風しん抗体検査及び第5期風しん予防接種を実施。行政措置での任意接種は、生後6月～65歳未満のインフルエンザである。 インフルエンザ定期接種(65歳以上)は、自己負担額1,400円、生後6月～64歳のインフルエンザ任意接種1,900円、高齢者の肺炎球菌3,200円である。 平成25年度より妊娠を希望する女性及びその配偶者等が抗体検査を行い、その結果、風しんの予防接種を行った場合、上限4,000円で補助を行っている。 令和4年4月より、造血幹細胞移植後のワクチン再接種補助金の交付を行っている。 ※令和6年度より、(10380)感染症予防事業と(11826)こどもの予防接種事業に分割。
【業務の流れ】	医療機関等との契約。委託料の支払い事務。補助金交付に関する事務処理。接種台帳管理、電算入力等の事務処理。予診票作成。 個別通知、ホームページ・広報等で周知。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費・印刷製本費)、役務費、委託料、負担金補助及び交付金、報酬、職員手当等、旅費

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

予防接種法に基づき、個別接種にて感染症予防に努めた。

【実績】インフルエンザ定期接種8,250件、行政措置15,368件、高齢者用肺炎球菌152件。風しん抗体検査151件、風しん第5期41件。風しん予防接種費用補助64件。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

個別接種として、定期接種のインフルエンザ、高齢者用肺炎球菌の実施、行政措置で任意接種の1～65歳未満のインフルエンザ予防接種費用補助事業を実施。帯状疱疹ワクチンがB類疾病に位置付けられることに伴い、令和7年4月より定期接種として開始予定。予防接種については、個別通知、広報等で周知を行う。
 令和7年度より、【10380】感染症予防事業と【11797】新型コロナウイルス感染症予防接種事業が統合予定。

③予算の主な増減の理由

令和7年度より、帯状疱疹ワクチンが定期接種となるため委託料の増。【10380】感染症予防事業に【11797】新型コロナウイルス感染症予防接種事業を統合することによる増

成果指標

接種件数

(単位) 件

健康管理システム

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	接種件数	件	44,730	43,300	26,000	23,770	33,500	33,500	33,500	33,500
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円	3,643	2,074	1,383	780	435	435	435	435
	地方債	千円			4					
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	259,730	261,855	86,666	70,339	302,847	302,847	302,847	302,847
(A)事業費計	千円	263,373	263,933	88,049	71,119	303,282	303,282	303,282	303,282	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

予防接種は適切な接種時期に接種をすることで、個人の免疫獲得、感染症の発症・重症化を予防、さらに集団免疫につながる。その為、接種機会を逃さないよう対象者への周知(個別・広報誌・ホームページ等)を行うことが重要である。今後も、予防接種をとりまく状況は変化が大きい為、適切に対応していく必要がある。

(4)今後の事業の方向性

廃止
 縮小
 事業のやり方改善
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)